



企画第 29 号

平成19年4月25日

国土交通省道路局長 様

芽室町長 宮 西 義 憲



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、
別紙のとおり意見を提出します。

(総務部企画財政課企画財政グループ)

今後の道路整備に係る中期計画の作成に関する意見について

市町村名：芽室町

項目	意見
<p>(道路政策や道路の整備・管理全般)</p> <p>道路行政全般について</p>	<p>道路整備にあたっては、限られた予算の中で、効率的・効果的に整備を進めていくべきであることはもちろんですが、地方の道路整備が遅れているという現状を踏まえた計画とすることが必要だと考えます。</p> <p>特に、市町村道については、住民の暮らしを支える重要な生活道路であり、それぞれの地域の実情に合った整備が必要です。</p> <p>また、十勝地域は広域分散型の地域構造であり、自動車交通の依存度が高い上、冬期間の路面凍結や積雪に対する除雪体制など安全確実な走行ができる道路が求められています。</p> <p>「道路整備に係る中期的な計画」の策定にあたっては、こうした地域の実情や、地域における道路の必要性を十分に踏まえたものとされることが必要と考えます。</p>
<p>(重点化を進める上で特に優先度の高い政策)</p>	
<p>高規格幹線道路の整備について</p>	<p>高規格幹線道路帯広・広尾自動車道は、重要港湾十勝港と、とちか帯広空港を結び、更に北海道横断自動車道との接続により、本町を始め十勝圏・道東全域の地域開発や振興を図るうえで極めて重要であることから、早期供用を目指し整備促進されることが必要であると考えます。</p>
<p>既存高速道路の活用促進</p>	<p>通行料金の引き下げにより高速道路の活用促進を図ることが必要と考えます。</p>
<p>高規格幹線道路のインターチェンジの増設について</p>	<p>高規格幹線道路帯広・広尾自動車道は、平成15年3月から供用が開始され、本町を始め十勝の産業経済の発展や住民生活の安定性・快適性の向上に大きな役割を果たしているところです。</p> <p>平成18年3月には、帯広川西 I.C から幸福 I.C の間が供用開始となり、空の玄関口・とちか帯広空港へのアクセスは向上しました。</p> <p>しかし、芽室帯広 I.C から川西 I.C の間には距離があり、必ずしも利便性が高いとは言えない状況です。人の迅速かつ安全・確実な移動や、貨物の輸送効率化など本自動車道の機能を十分活用していくためにも、早期のインターチェンジ増設が必要であると考えます。</p>